

「球」とは？球とはどんな形か、 球の中心と半径をわかりやすく解説

身の回りの球

「球きゅう」とはどんな形かというと、「どこから見ても円に見える形」だよ。

たとえば、サッカーボールはどこから見ても「円」に見えるよね。
だから、サッカーボールは「球」といえるんだ。



身の回りには、ほかにも「球」があるよ。

身の回りの球

・ ビー玉



・ 野球ボール



・ 地球



球ではないもの

球のように見えるけれど、球ではないものをしょうかいするね。

たとえばラグビーボールは球ではないよ。

なぜなら、見る向きによっては、円には見えないよね。

球は、「どこから見ても円に見える形」でなくてはいけないからね。



ジュースなどが入っているかんも球ではないよ。

上から見たら、円に見えるけれど、

横から見ると、円には見えないからね。



球のポイントは、どこから見ても円に見える形だよ。

球とは

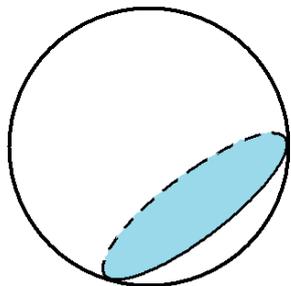
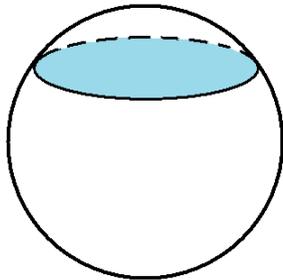
どこから見ても円に見える形



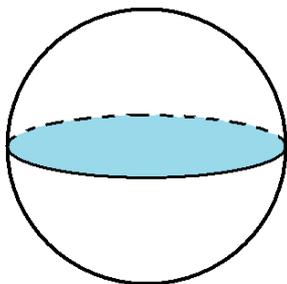
球のとくちょう「切り口が円になる」

「球」とはどんな形かわかったかな。
 それでは、「球」にはどんなとくちょうがあるかを しょうかいするよ。

球はどこで切っても、その「切り口が円になる」んだ。
 もしもまん丸のスイカやメロンを切るチャンスがあったら、ためしてみてね。



どこで切っても、切り口が円になっているね。



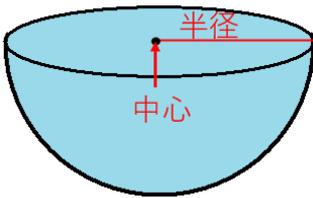
ちなみに球は、半分のところで切ったとき、その切り口の円の大きさがいちばん大きくなるよ。



球の中心と半径とは

球を半分のところで区切ってみよう。

このときの切り口の円の中心のことを「球の中心」、切り口の円の半径のことを、「球の半径」というよ。



「球」とは？「球の中心」と「球の半径」まとめ

球・球の切り口・球の中心・球の半径

- ・どこから見ても円に見える形を球という。
- ・身の回りの球はサッカーボール、ビー玉、野球ボール、地球などがある。
- ・球をどこで切っても、切り口はかならず円になる。
- ・球を半分で切ると、切り口の円の大きさはいちばん大きくなる。
- ・球を半分で切ったときの切り口の円の中心のことを、球の中心という。
- ・球を半分で切ったときの切り口の円の半径のことを、球の半径という。

